

●近畿子どもの水辺でのカヌー体験の実施 9月16日(月)9時集合で12時まで実施しました。夏に行った「さくらであい館」では増水でカヌー体験は中止となったので、会場を笠置に移しました。募集は8月18日の申し込みをされていた皆さんにご案内を行ったところ9家族31人の応募がありました。当日の参加は9家族28名でした。ここしばらく秋らしい天候でしたが、この三日ほどは残暑が厳しく35度近い気温になり、熱中症が大変気になりました。深田理事長の挨拶・藤田亮社長から現地での諸注意を受けて準備体操を入念に行い、お互いにライフジャケットの装着を確認し合います。そしてパドルの操作を繰り返し陸上で稽古しました。各人がカヌーを川に運び下ろし、乗り込みました。小さい子どもは保護者と二人乗り艇に、ほとんどの皆さんは一人乗り艇に乗り込みました。中には小学1年生が両親の意見で一人乗りということもされていました。みなさん、最初はぎこちなかったのですが、すぐに要領を飲み込んでスイスイでした。藤田社長の先導で奇岩の並ぶ上流に向かいました。約1時間30分ほどの体験でしたが、ひっくりかえったのは15艇のうち2艇だけで全員しっかり楽しいひと時を過ごしました。皆さんからの感想文を掲載しておきます。

- ▲カヌー体験ありがとうございました。初めてのカヌーで、長男はひっくり返りましたが、これもととても良い経験でしたまた参加します。 よろしくお願ひします。
- ▲水面から見る景色はととても美しかったです。お知らせいただき、貴重な体験ができました。親子でとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ▲子どもが初めてのカヌーだったのですが、すぐにできるようになり。楽しい体験だったようです。川の生き物や川遊びは、すごく楽しみながら勉強になったと思います。また機会があれば参加したいと思ひます。 ありがとうございます。
- ▲きょうカヌーは景色がきれいで、あの岩は昔からできた岩で。ちょう大きくなつて僕らはびっくりして、景色は森がきれいで、僕はこれが秋だったら葉っぱの色も変わつていたと思ひました。
- ▲木津川の横を車で通りすぎる時に、たまに見かけたカヌー、あこがれていました。ここでカヌーをしてみたいと。そして今日。それがかないました。美しく広大な風景に、ゆったりと流れる水、心癒される贅沢な時を過ごすことが出来ました。このような機会を与えていただき、心より感謝しています。家族の思い出として大切なものが増えました。ありがとうございます。
- ▲カヌーを乗るのが楽しかったです。一人で乗れるのが楽しかったです。
- ▲やまのけしきがきれいでした。きづがわにさざえがいました。たのしかった。
- ▲さいしょはカヌーはこわいと思ひていましたが、やってみて楽しいと思ひました。またやってみたいです。みずがこわかったけど、たのしかったです。

●竹蛇籠製作講習会を15日(日)初日として9:30~12:00まで実施 田辺高校生3名が参加され10名の取組になりました。これまでもお伝えしてきましたが、昨年製作した高橋式竹割り機が威力を発揮してくれました。7mの竹を割るのに1分もかかりません、あっという間に本日使用する竹5本が処理されて20本になりました。次に幅45mmの幅に整える新型機を使いました。これは太田さんが大苦心して作りあげたものです。竹蛇籠製作で最も必要な条件は、如何に均一な材料を作りあげるかにかかっているのです。幅精製機の構想を練ってきました。12月に入会いただいた太田さ

んが考えに考え抜いた末に、送り込み装置として動かないバイクを動力として再生させ、組み上げていただいた苦心作です。そして試行錯誤を繰り返し、幅精製の急所である削り取る刃の部分について苦心惨憺の後に出来上がりました。これもかなりのスピードで作業が進みます。まさにこれもあっという間に処理が出来ます。しかし厚くて固い根っこ部分や節の部分のところでは押し込む力に弱さが見られるのですが、大きな欠陥ではなくこの作業もあっという間に終わります。三番目の機械は、昨年超大型な土木機械である振動ローラーを小型でシンプルな使いやすい地固め用のものを購入しました。この機械も実際に使用してみなければわからないものだったのですが、一応順調に難なく能率よく作業をこなすことが出来ました。最初のころはこうした動力は全く使わず人力に頼ったものですから、体力はすごく消耗するが、その割には能率が上がらないという苦戦続きでした。これまでの3回の教訓を生かして3種類(割り、幅、ひび)の動力機械を準備したので、製作前の準備がその日のわずかな時間で調達が可能になったのです。するとその日に使用する分量だけ製造すればいいので、常に柔らかくで扱いやすい新鮮な資材となります。随分と技術力が向上したことになりました。問題はこの三種類の機械を自由に使いこなせるようになることです。特別な人のみが見えるということになると負担がかかりますので、この課題を乗り越えたいと思います。

●会誌47号の原稿募集締め切り日が来ています。36号の会誌原稿集めにこれまでにない苦勞をしました。この教訓から、少なくとも事務局会議に出席している人から先頭に立っていただこうと、それぞれの皆さんにお題をお願いいたしました。昆虫の世話役の金田さんには「早起きは三文の徳」、理事長の深田様には「高齢者の意欲と生きがい」のお題をお願いいたしました。そのほか播川さんには「退職後の趣味と意欲の大切さ」、森島さんには「親父の背中」をお願いしました。大村さんや大釜さんには「トマトの生産や栽培」「タマネギの栽培」、山田さんに「水質調査と木津川の課題」などについてお願いしています。素晴らしい原稿をお寄せいただけるのではないかと胸が躍ります。ご期待ください。会員の皆様もぜひ一筆気軽に寄稿頂けると大変うれしいです。

●竹蛇籠の製作は毎週土曜日と日曜日の午前中9時30分から12時まで実施しています。午後も応援いただける皆様のご意思を大いにお願ひいたします。一応午後も継続実施としています。場所は木津川右岸 玉水橋のすぐ下流部分の広場です。雨天の場合は府道下のトンネルがあるので、雨天でも実施できます。少しは工夫が必要ですが、どなたでも製作は可能です。気楽にお越しください。申し込み不要、現地受付です。直径45cmで長さ2.5mの竹の籠を作ります。手袋、水筒、帽子をご持参ください。お越しをお待ちしています。

●竹蛇籠製作講習会 参加者募集中

9月21・22・23日(土、日、祝)

午前9時30分～12時まで

玉水橋東詰め 広場

JR 奈良線 玉水駅下車 西へ徒歩5分

手袋 帽子 作業服 作業できる靴

その他 毎週 土日 連続開催
申込み必要なし 自由参加 現地受付